

環境経営レポート



株式
会社

西日本模型

Nishi-Nihon Model Fabricators, Inc.

2023 年度 第48期

(対象期間 2023 年4月1日～ 2024 年3月31日)



香川県庁舎



発行日： 2024年5月27日

目 次

項 目	ページ
ごあいさつ	2
環境経営方針	2
環境保全への行動指針	2
組織の概要	3
環境経営組織及び役割・責任・権限	4
主な環境負荷の実績	5
環境経営目標及びその実績	5
環境経営計画の取組結果とその評価	6
製作実績	11
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟の有無	12
緊急事態対応の試行・訓練	12
代表者による全体の評価と見直し・指示	13
これまでの環境活動の紹介	13



新型高効率誘導加熱装置

ごあいさつ

おかげさまで弊社は創業60年余の歴史を歩ませていただいております。長い歴史の中で培って参りました、豊富な経験と高い技術力を持つベテラン技術者と職人が、お客様のご要望とご予算に応じて、常に最高品質の模型をご提供し、お客様にご満足していただけると自負しております。

このたび弊社は、持続可能な企業を目指し、エコアクション21に取り組むことを宣言いたします。従業員一丸となって、より一層環境に配慮した、働きがいのある職場づくりを目指します。

環境経営方針

本業である模型製作を通じて、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動に自主的・積極的に取り組みます。また、社内全体で最新の環境問題について学びながら、一人ひとりが環境に配慮した行動に努めます。

お客様に喜んでいただける商品を効率よく、無駄なくお客様に提供することが当社の一番の環境対策と考えて、従業員一丸となって継続的に改善活動に取り組んでまいります。

環境保全への行動指針

- 1 . 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
- 2 . 脱炭素化社会に向けて電力や燃料の二酸化炭素排出量の削減に努めます。
- 3 . 循環型社会に向けて廃棄物の発生抑制や再資源化に努めます。
- 4 . 水資源の有効利用のため水の削減に努めます。
- 5 . 溶剤など化学物質の適正管理に努めます。
- 6 . 改善提案の推進と業務の効率化により生産効率を改善し二酸化炭素排出量の削減します。

制定日： 2023年6月30日

代表取締役 **中村康三**

組織の概要

(1) 名称及び代表者名

株式会社 西日本模型

代表取締役 中村康三

(2) 所在地

本 社 大阪府大阪市東淀川区西淡路5丁目1番17号

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 社長 村井俊和 TEL：06-6328-0088

担当者 管理部 吉田 TEL：06-6328-0088

(4) 事業内容

建築模型、構造模型、ジオラマ等の製造

(5) 事業の規模

売上高 300,634 千円 (48期)

従業員 28 名

延べ床面積 395 m²

(6) 事業年度 4 月 1 日 ～ 3 月 31 日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 株式会社 西日本模型

対象事業所： 本社

活動： 建築模型、構造模型、ジオラマ等の製造

□事業の紹介

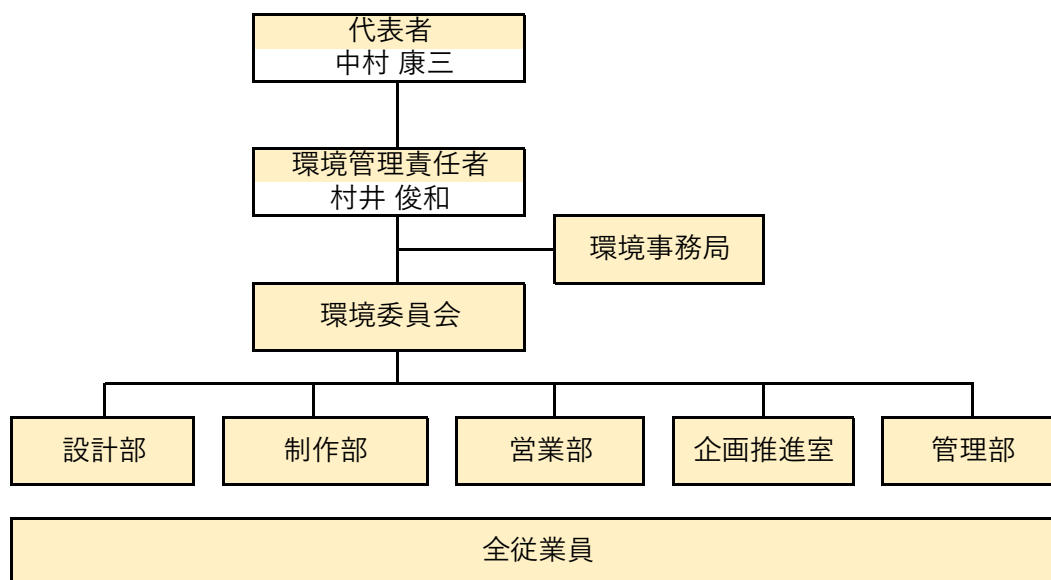
< 模型の製造 >



大阪万博1970

環境経営組織及び役割・責任・権限

更新日：2023年10月2日



	役割・責任・権限
代表者	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人員、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、環境管理の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
環境委員会	・環境経営計画の審議 ・環境活動実績の確認・評価
部門長	・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

主な環境負荷の実績

項 目	単位		2022年度	2023年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂		37,770	35,016
Scope1（化石燃料）	kg-CO ₂		5,331	6,772
Scope2（電力）	kg-CO ₂		32,439	28,245
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	k g		5,433	3,560
産業廃棄物排出量	k g		480	80
水使用量	m ³		192	181
			0.311	kg-CO ₂ /kWh
		関西電力 メニュー -- I（残渣）（2022年度）		

環境経営目標及びその実績

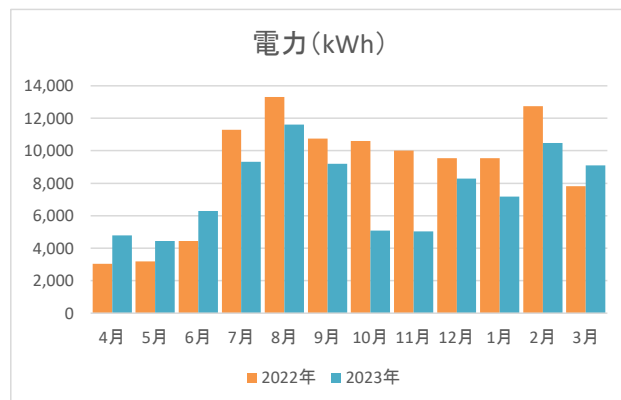
年 度 項 目		2022年度	2023年度		評 価	2024年度	2025年度
		（基準値）	（目標）	（実績）		（目標）	（目標）
	kWh	104,306	103,263	90,819	○	102,220	101,177
	基準年度比		99%	87%		98%	97%
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	32,439	32,115	28,245	○	31,790	31,466
	基準年度比		99%	87%		98%	97%
都市ガスによる二酸化炭素維持管理	kg-CO ₂	17	17	4	○	-	-
	基準年度比		99%	99%		-	-
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	5,314	5,261	6,767	×	5,208	5,154
	基準年度比		99%	127%		98%	97%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	37,770	37,393	35,016	／	36,998	36,620
一般廃棄物の削減	kg	5,433	5,379	3,560	○	5,324	5,270
	基準年度比		99%	66%		98%	97%
産業廃棄物の削減	kg	4,480	4,435	80	○	4,390	4,346
	基準年度比		99%	2%		98%	97%
水道水の削減	m ³	192	190	181	○	188	186
	基準年度比		99%	94%		98%	97%
シンナー使用量削減	L	527	522	577	×	516	511
	基準年度比		99%	109%		98%	97%
ロックラッカー使用量削減	kg	124.2	123.0	279.8	×	121.7	120.5
	基準年度比		99%	225%		98%	97%
環境に配慮した製品・サービスへの取組	行動目標（次項による）年間達成実績 1 件						
課題を解決しチャンスを活かす取組	行動目標（次項による）						

環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標：○達成 ×未達成

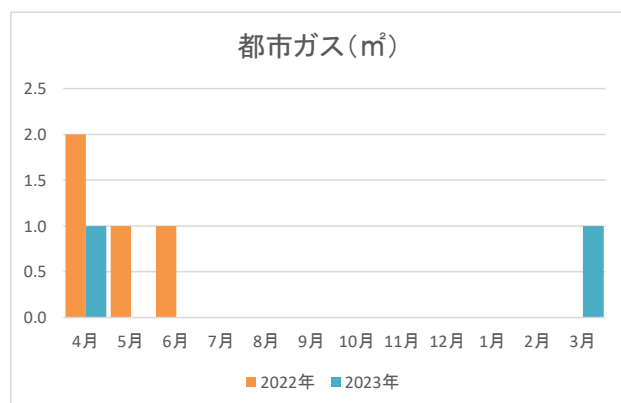
活動：○よくできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、本年度の取組計画
数値目標	○	全体としては目標を達成できているが、未達成の月もある。特に夏季・冬季は空調の使用により電力の使用量が増加しているので、今後も節電を意識して取り組んでいきたい。
・使用していない部屋の空調の停止	○	
・不要照明の消灯	○	
・OA機器の省電力設定	○	
・夜間・休日のOA機器の主電源を切っている	○	



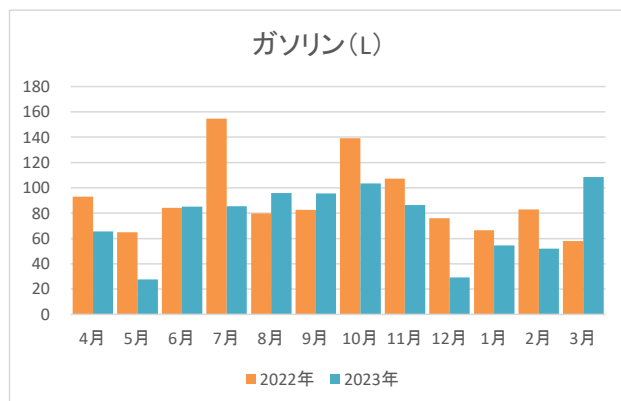
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2022年	3,040	3,195	4,445	11,285	13,305	10,749	10,607	10,009	9,556	9,556	12,751	7,821
2023年	4,779	4,444	6,300	9,325	11,606	9,202	5,084	5,035	8,285	7,167	10,488	9,104

都市ガスによる二酸化炭素維持管理	達成状況	取組結果とその評価、本年度の取組計画
数値目標	○	ほとんど使用していないので、このまま維持していきたい。
・都市ガスなどの環境負荷の少ない燃料の購入・使用	○	
・冬季以外は給湯を停止	○	



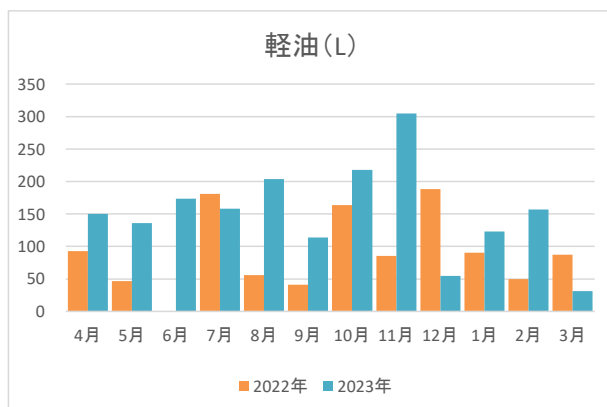
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2022年	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2023年	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度取組計画
数値目標	×	売上の増加により、模型の納品や引き取りなどで使用量が増えてしまった。引き続きエコドライブを意識して燃料削減に取り組みたい。  
・エコドライブの浸透	○	
・効率的なルートで配送	○	
・公共交通機関を積極的に利用する	○	



社用車の鍵置き場にSDGsのアイコン貼付

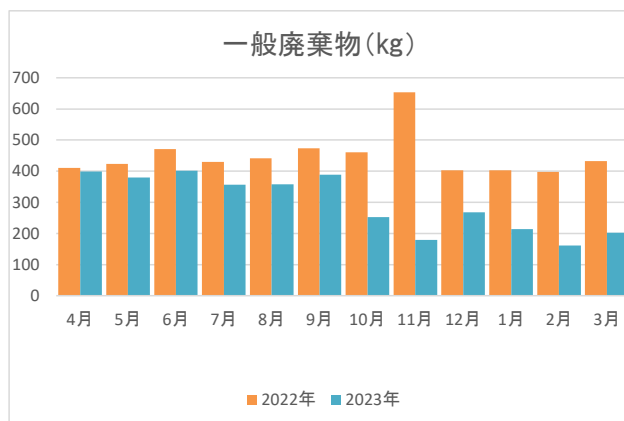
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2022年	93.0	64.9	84.3	154.7	79.8	82.6	139.1	107.2	75.9	66.4	82.8	58.1
2023年	65.7	27.6	85.0	85.4	96.0	95.7	103.5	86.6	29.2	54.6	51.8	108.5



社用車の記録表にSDGsのアイコン貼付

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2022年	92.7	46.4	0.0	180.9	55.7	41.1	163.4	85.2	188.3	90.2	49.5	87.1
2023年	150.1	136.2	173.7	158.0	203.5	113.6	217.6	305.0	54.8	123.0	156.8	31.0

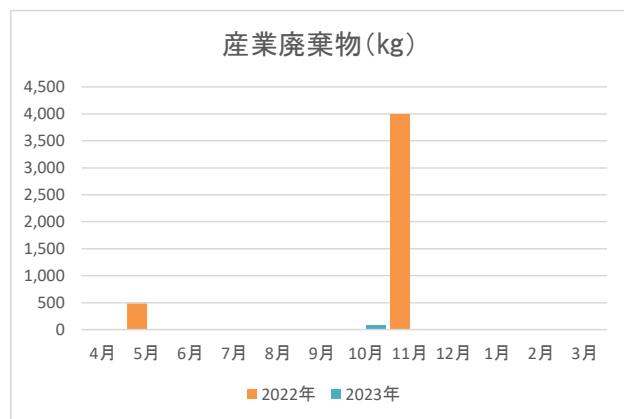
一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	2022年度は事業所の引っ越しもあり、一般廃棄物が多かったため、2023年度はそれに比べて一般廃棄物量が少なかった。2024年度も目標を達成できるよう取り組みたい。
・分別の徹底	○	
・シュレッダーを機密文書に限り、古紙リサイクルに努める	○	
・文書の電子化	○	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2022年	411	424	471	430	442	474	461	653	403	403	398	432
2023年	400	380	402	356	357	389	252	179	268	214	161	203

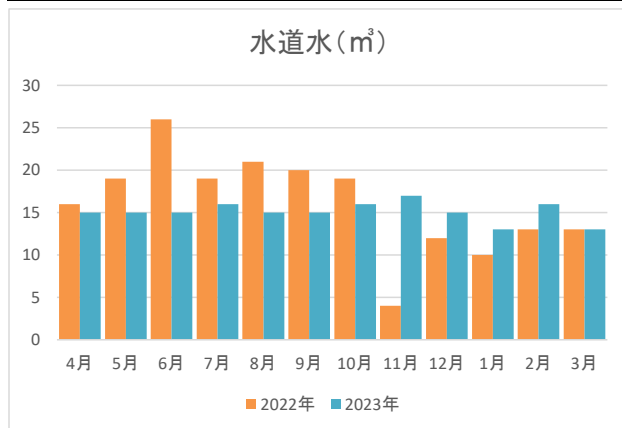


産業廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	2022年度11月に事業所の引っ越しがあり、産業廃棄物が大量に発生した。2023年度は10月に塗料の廃液が出るにとどまった。2024年度も目標を達成できるよう取り組んでいく。
・作業ミスによる廃棄量の削減	○	
・リサイクル業者の開拓	△	



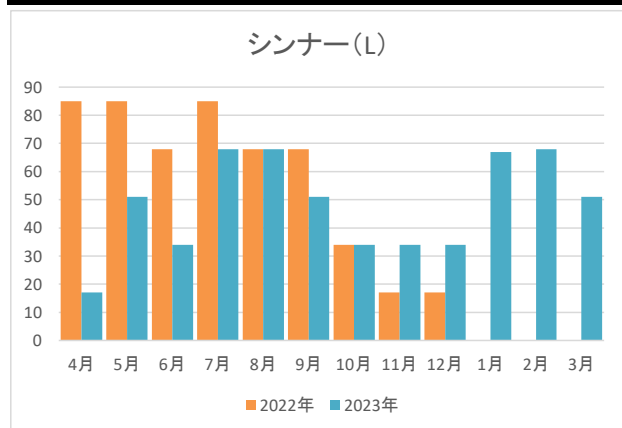
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2022年	0	480	0	0	0	0	0	4,000	0	0	0	0
2023年	0	0	0	0	0	0	80	0	0	0	0	0

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	基準年と比べて削減できた。今後もより一層の節水に努めた い。
・日常的な節水	○	



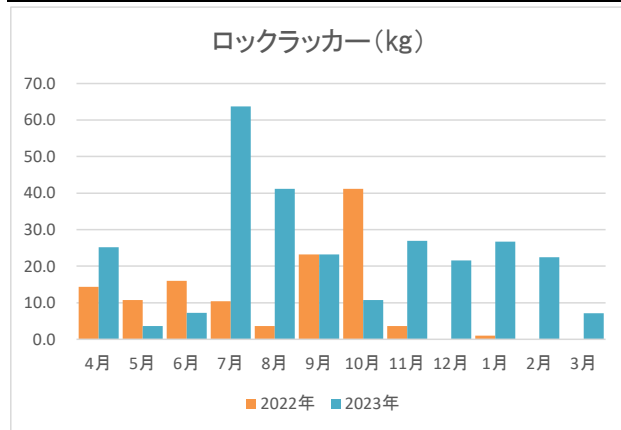
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2022年	16	19	26	19	21	20	19	4	12	10	13	13
2023年	15	15	15	16	15	15	16	17	15	13	16	13

シンナー使用量削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	後半に注文増加のため、使用量が増加した。2024年度はより一層の削減に取り組んでいきたい。
・揮発の防止	○	
・適正管理に努めている	○	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2022年	85	85	68	85	68	68	34	17	17	0	0	0
2023年	17	51	34	68	68	51	34	34	34	67	68	51

ロックラッカー使用量削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	売上の増加により、全体的に使用量が増加した。改めて管理の徹底と、無駄のない使用に努める。
・揮発の防止	○	
・適正管理に努めている	○	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2022年	14.4	10.8	16.0	10.4	3.6	23.2	41.2	3.6	0.0	1.0	0.0	0.0
2023年	25.2	3.6	7.2	63.7	41.2	23.2	10.8	27.0	21.6	26.7	22.5	7.1

環境に配慮した製品・サービスへの取組	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・持続可能な原材料の採用	○	外部に外注していた名刺を、再生紙を使用した用紙を使用して自社で作成するものに転換した。今後も、さらに環境に配慮した製品への転換に取り組んでいきたい。
・紙類の再生紙又は未利用繊維への転換	○	
・油性塗料などの削減、代替物質への転換	○	
・有害性の少ない原材料の使用	○	

課題を解決しチャンスを活かす取組	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・技術の継承	○	積極的に課題に取り組んだ。今後も、一人ひとりが当事者意識を持って取り組んでいけるよう、働きかけていきたい。
・企業価値向上による顧客獲得	○	
・事業拡大のための資金調達、人材確保	○	

製作実績



大阪大国技館



有澤総合病院



交通科学博物館



植栽・外構



住宅模型



大阪ヘルスケアパビリオン模型

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の保管・排出
フロン排出抑制法	業務用空調機の簡易検査
家電リサイクル法	特定家庭用機器をなるべく長期間使用・再商品化に必要な料金の支払い
小型家電リサイクル法	分別し、再資源化を適正に実施するものに引き渡すように努める
有機溶剤中毒予防規則	準用し、整備に努める
労働安全衛生法	有機溶剤作業主任者を選任し、適切な管理に努める

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

取組期間中、外部からの苦情、要望等はありませんでした。

2023年10月2日

緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定： 火災の発生	
■実施日：2023年9月7日	■実施場所： 本社
■参加者： 全従業員	
■実施内容： ☒ 通報訓練 ☒ 消火訓練 ☒ 避難訓練 「2階食堂から火災が発生した」という想定に基づき、119番通報、社内非常放送、初期消火、模擬避難の訓練を実施した。	
■評価：	手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし
火災発生の模擬非常放送から5分以内に模擬避難が完了した。消火訓練は訓練用の水消火器で行い、119番通報訓練は事前に用意したメモを元に行った。滞りなく訓練ができ、火災時の対応について確認できた。	
■実施状況の様子	
  	

代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2024年5月20日

電力による二酸化炭素の削減、廃棄物の削減、水道水の使用量等は目標値を達成できたが、社用車の燃料使用量、シンナーや塗料の使用量等、目標の達成に及ばなかったものもあった。前年度の2022年11月に事業所の移転をしたことで、基準年度の廃棄物量は大幅に増えたものと考えられる。

また、事業所の移転により延床面積が1.5倍になり、比較基準が一致していない問題がある中での結果となっている。ついては、次回以降は今期の記録を基準とし、改めて現事業所での取り組みを考え、次期は今期の反省を踏まえた上で、全社を挙げて課題解決に向けて推進していきたい。

社用車の燃料使用量、シンナーや塗料の使用量等、売り上げの増加に伴って増加したものもあった。模型の納品等、社用車を使用せざるを得ない場合もあるが、エコドライブの呼びかけ等を引き続き行い、エコカーへの変更等も検討していく。またシンナーや塗料については、エコシンナーや水性塗料の転換も視野に入れ、担当部署と環境委員会にて審議の元進めていく。

2023年度は名刺をバナナの茎から作られた環境に配慮した紙を使用するものに変更した。2024年度も塗料やシンナー使用量の削減のため、新しいプリンターの導入を検討している。社全体にこうした新しい取り組みのアイデアを募り、よりよい環境経営が行えるよう、今後も邁進していきたい。

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営目標・計画	☐ 変更なし	☒ 変更あり
実施体制他	☒ 変更なし	☐ 変更あり

これまでの環境活動の紹介



地域清掃の様子



地域清掃の様子



Banana
&
Planet

バナナの茎から作られたワンプラネット・
ペーパー (<https://oneplanetpaper.com>)
という、環境に配慮した紙を使用して作成
した名刺